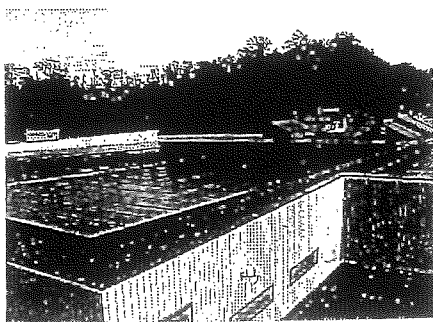




ユリなどの球根販売を手掛ける中村農園(高知市、中村裕司社長)は11日、発電能力242キロワット

球根販売の中村農園

の太陽光発電システムを導入したと発表した。電力会社の購入を減らし、地球温暖化防止につながる。削減した電気料金は取引先の切り花生産農家に還元する。導入したシステムの発電能力は高知市で最大。県内では3番目の規模となる。

高知市最大の太陽光発電

金は取引先の切り花生産農家に還元する。導入したシステムの発電能力は高知市で最大。県内では3番目の規模となる。

能力242キロワット、県内3位 冷蔵倉庫で使用

冷蔵倉庫1施設のパネル据え付けについては経済産業省の補助事業で、事業費5600万円の3分の1を国が負担する。残る冷蔵倉庫と本社は環境省のモデル事業として当初5000万円を支払い、15年間維持費を負担。その後同社の所有となる。